

# 第4期天草市天草地域まちづくり計画

～歴史・文化・自然を育み 人が輝く 生き生き あまくさ～

## 天草市 天草地域

制 定 日	令和8年3月
改 正 日	

## 第4期天草市天草地域まちづくり計画 目次

1	計画のあらまし	1～2
1.1	計画策定の趣旨	1
1.2	計画の性格	1
1.3	計画の期間	1
1.4	計画の体系	2
2	天草地域の概要	3～5
2.1	位置・地勢	3
2.2	面積・土地利用	3
2.3	人口・世帯数	4～5
3	めざす姿	6～10
3.1	めざす姿の実現に向けて	6～7
3.2	取り組みによって解決が期待される課題	8～10
4	計画の推進体制	11
4.1	実施	11
4.2	評価・改善	11
5	地域別計画	12～34
5.1	福連木地区振興計画	13～16
5.2	下田北地区振興計画	17～21
5.3	下田南地区振興計画	22～26
5.4	高浜地区振興計画	27～30
5.5	大江地区振興計画	31～34

## 1 計画のあらまし

### 1.1 計画策定の趣旨

平成18年3月27日、2市8町が合併して天草市が誕生しました。市内各地域には、素晴らしい自然や独自の文化や歴史、豊かな農林水産資源、さらには、日々の生活で育まれた相互扶助の精神など、全国に誇れる地域資源が数多くあります。

しかしながら、今日、本市においては、人口減少や過疎地域の増加、少子高齢化や地域の担い手不足などにより、継続した地域活動やコミュニティの維持が懸念されています。そのような中、地域における人々のつながりや、共助による活動の推進、また、一人ひとりが地域に対する愛着や誇りを持つことが、持続可能なコミュニティの形成につながります。

まちづくりに関する施策を効果的・効率的に推進するためには、地域住民と行政が一体となって、体系的・計画的に取り組む必要があるため、本地域のまちづくりの指針となる「天草市天草地域まちづくり計画」を策定し、「未来へ続く魅力ある地域づくり」を推進し、その実現を目指すものです。

今回、第3期天草市天草地域まちづくり計画を検証し、地域の課題等を再確認するとともに内容の見直しを行いました。

### 1.2 計画の性格

本計画は、次のような性格を持っています。

- ① 長期的・総合的な視点から、本地域が目指す今後のまちづくりの基本的な方向を示しています。
- ② 本市が策定する「第3次天草市総合計画基本計画」と方向性を共有しながら、地域が主体となって策定する計画として策定します。
- ③ 本地域の地域住民や行政機関のみならず、まちづくり関係団体、企業、学校など、地域全体でまちづくりに取り組む方向性を示しています。

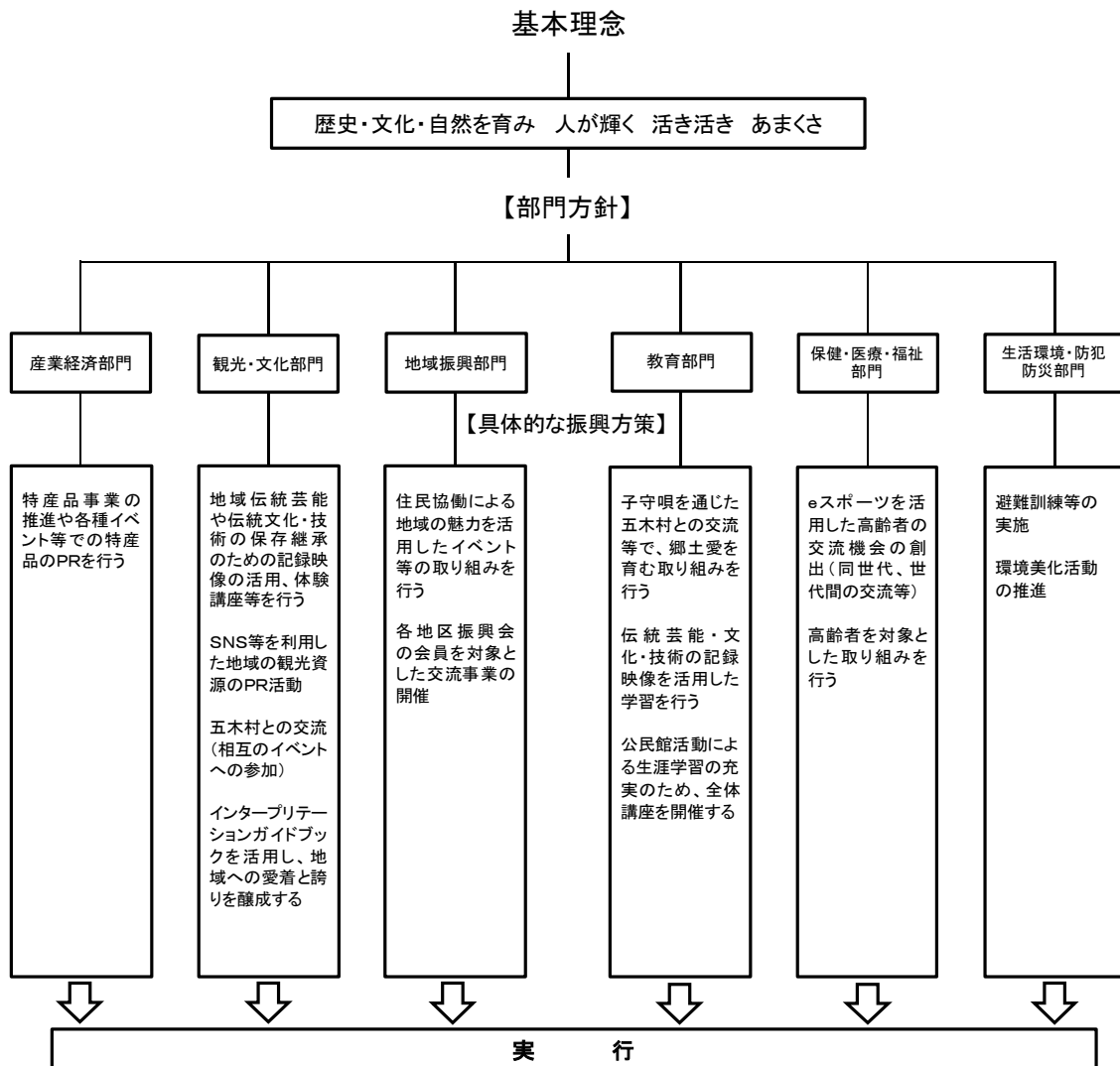
### 1.3 計画の期間

本計画の期間は、令和8年度から令和11年度までの4年間です。

また、実現すべき施策目標を設定するとともに、その施策目標を達成するために必要な計画を示したものです。

## 1.4 計画の体系

図1 天草市天草地域まちづくり計画の方策の体系



## 2 天草地域の概要

### 2.1 位置・地勢

本地域は、天草市の下島西部に位置し、福連木、下田北、下田南、高浜、大江の5地区で構成されています。西部は東シナ海に面し、サンセットラインと呼ばれ、夕日が美しい景勝地です。また、東部は江戸時代幕府直轄でもあった角山（官山）を有するなど、多くの自然に恵まれています。

また、本地域は、国民保養温泉地に指定されている下田温泉や国指定名勝天然記念物の妙見浦をはじめ、約2万本のヤブ椿や近年SNSで有名となったアコウの木が自生する西平椿公園、白鶴浜海水浴場を有し、他にも全国シェア8割を占める陶磁器の原料となる天草陶石や、キリシタン文化の歴史的遺産などがあり、多くの観光資源にも恵まれています。



### 2.2 面積・土地利用

本地域の総面積は85.48 km<sup>2</sup>で、市面積の約12.5%となっています。

土地利用については、全体の約85.4%を農地・山林で占めており、宅地・道路用地については約3.9%となっています。

表1 天草地域土地面積（2018（平成30）年10月1日現在）

	天草地域	天草市
面積（km <sup>2</sup> ）	85.48	683.87
割合（％）	12.5	100

（国土地理院九州地方測量部）

## 2.3 人口・世帯数

表2 天草地域の人口、世帯数の推移

区分	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
人口（人）	4,233	3,572	3,074	2,607
世帯数（世帯）	1,772	1,610	1,419	1,301
世帯当たり人員（人）	2.39	2.22	2.17	2.00

（国勢調査）

図3 天草地域の人口、世帯数の推移

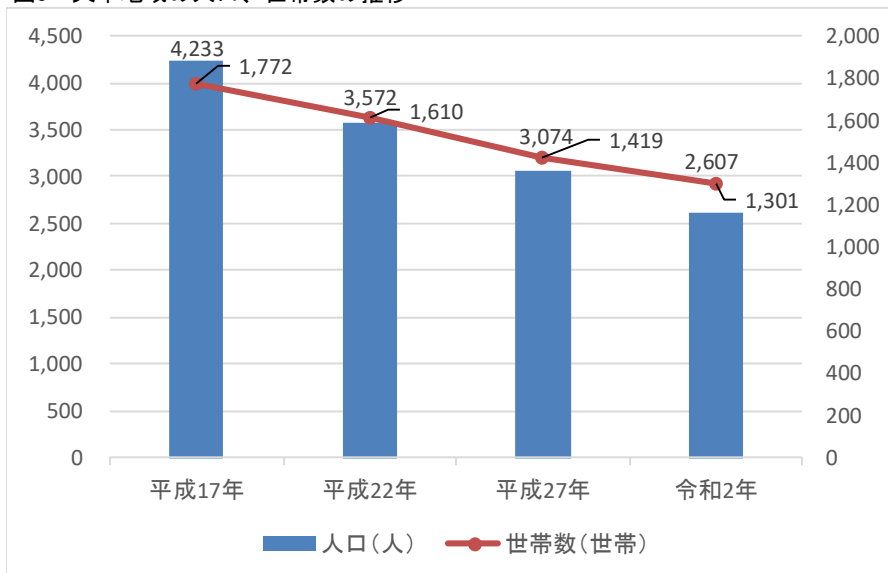


表3 天草地域の総人口、年齢階層別人口の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口（人）	比率（%）	人口（人）	比率（%）	人口（人）	比率（%）	人口（人）	比率（%）
総人口	4,233	100.0	3,572	100.0	3,074	100.0	2,607	100.0
0～14歳	537	12.7	353	9.9	248	8.1	155	5.9
15～64歳	2,094	49.5	1,727	48.3	1,417	46.1	1,096	42.0
65歳以上	1,602	37.8	1,492	41.8	1,409	45.8	1,356	52.0

（国勢調査）

※総人口には年齢不詳者を含むため、年齢階層別人口の合計とは一致しません。

図4 天草地域の総人口、年齢階層別人口の推移

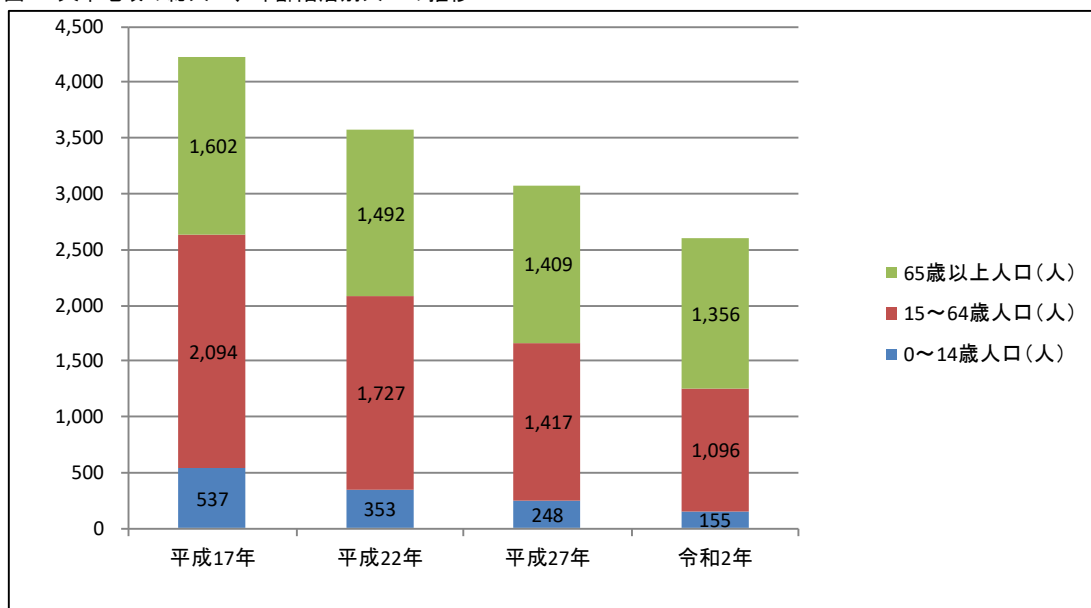


表4 天草地域の産業別就業者数の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
就業人口総数	1,828	100.0	1,542	100.0	1,340	100.0	1,195	100.0
第1次産業	360	19.7	320	20.8	224	16.7	219	18.3
第2次産業	422	23.1	293	19.0	243	18.1	219	18.3
第3次産業	1,046	57.2	929	60.2	872	65.1	755	63.2

(国勢調査)

※就業人口総数には産業分類不能者を含むため、産業別就業者数の合計とは一致しません。

図5 天草地域の産業別就業者数の推移

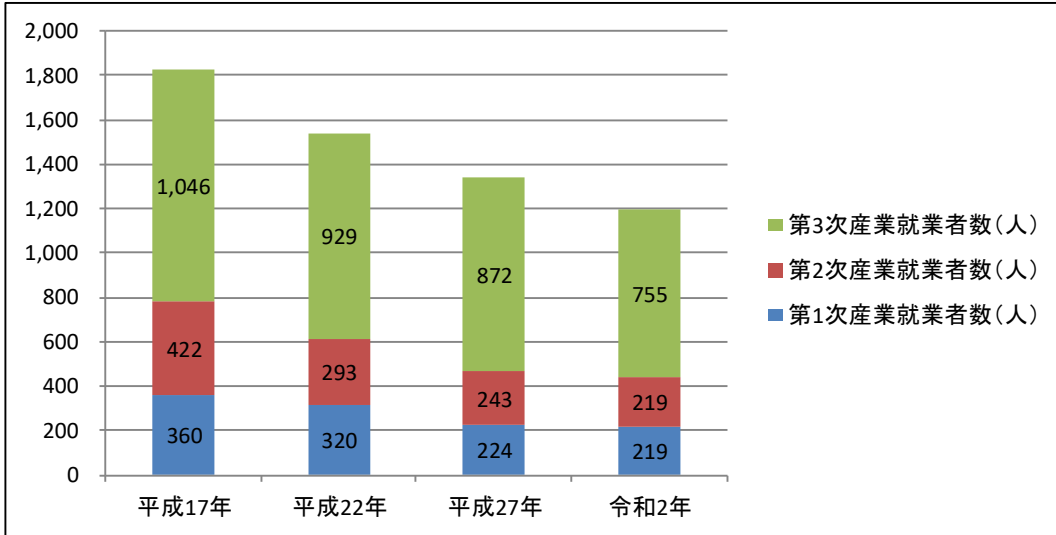


表5 天草地域の総人口、年齢階層別人口の推移 (将来予測)

区分	令和2年		令和7年		令和12年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
総人口	2,607	100.0	2,210	100.0	1,854	100.0
0~14歳	155	5.9	118	5.3	86	4.6
15~64歳	1,096	42.0	811	36.7	586	31.6
65歳以上	1,356	52.0	1,281	58.0	1,182	63.8

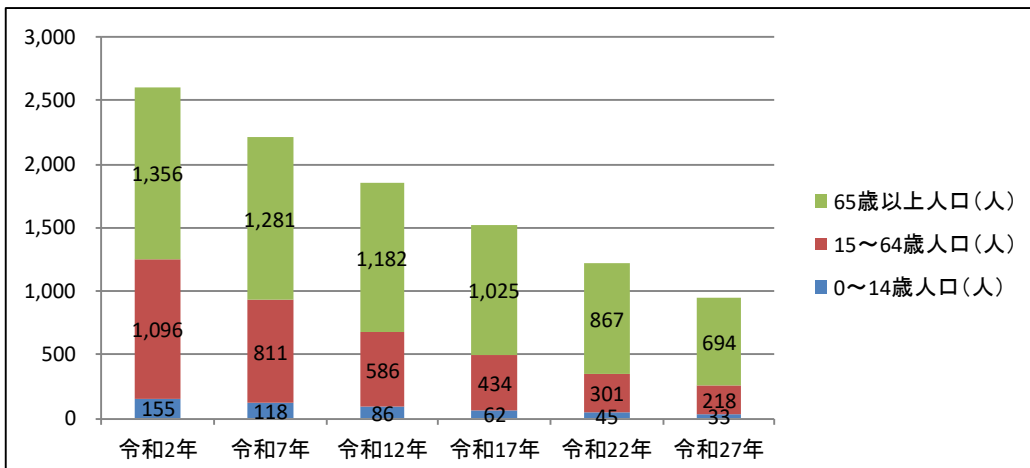
  

区分	令和17年		令和22年		令和27年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
総人口	1,521	100.0	1,213	100.0	945	100.0
0~14歳	62	4.1	45	3.7	33	3.5
15~64歳	434	28.5	301	24.8	218	23.1
65歳以上	1,025	67.4	867	71.5	694	73.4

(令和2年: 国勢調査、令和7~令和27年: 市政企画課)

※平成22年から平成27年の国勢調査の人口推移を基に、コーホート変化率法を用いて令和2年から令和27年までの将来予測人口を算出。

図6 天草地域の総人口、年齢階層別人口の推移 (将来予測)



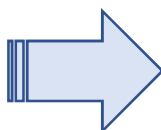
### 3 めざす姿

天草まちづくり協議会は、平成18年に発足。20周年を迎えるにあたり、地域住民一人ひとりが主役となり、できることから始め、地域の貴重な歴史文化自然遺産を継承、活用することで、まちの魅力を高めていく。そのようなまちづくりのテーマを「歴史・文化・自然を育み 人が輝く 生き生き あまくさ」とし、生きいきとした個性ある天草づくりを行います。

#### 3.1 めざす姿の実現に向けて

##### 【産業経済部門】

- ① 地域資源を活用したまちづくり
  - 特産品事業の推進や各種イベント等での特産品のPRを行う

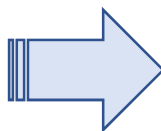


##### 取組目標

- ・天草各地区イベントや交流連携協定を締結している五木村イベントにおいて、特産品の販売やPRを行う。(年1回以上)
- ・まち協イベントにおいて、天草町特産品を賞品にすることで、PRを行う。(年1回以上)

##### 【観光・文化部門】

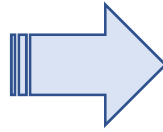
- ② 歴史と伝統文化、自然を活かしたまちづくり
  - 地域伝統芸能や伝統文化・技術の保存継承のための記録映像の活用体験講座等を行う
  - SNS等を利用した地域の観光資源のPR活動
  - 五木村との交流(相互のイベントへの参加)
  - インタープリテーションガイドブックを活用し、地域への愛着と誇りを醸成するとともに、体験コンテンツを活かした仕組みを構築する。



- ・支所内において、編集した記録映像の常時上映を行う。
- ・天草地区で残る伝統技術(味噌づくり、炭焼き等)の体験講座を行う。
- ・各地区において、天草Webの駅、Instagram、Facebookを活用し、地域の日々の出来事やイベント情報を、週1回以上発信する。
- ・交流連携協定を締結している五木村との共通の文化「子守唄」を通じて、相互のイベントに参加しながら、年1回以上交流を行う。
- ・天草西海岸版インタープリテーションガイドブックを活用し、天草町における体験コンテンツを活かした仕組みづくりに向け、地域住民等との話し合いを促進する。

### 【地域振興部門】

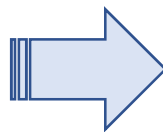
- ③ みんなが参画するまちづくり
- 住民協働による地域の魅力を活用したイベント等の取り組みを行う
  - 各振興会会員を対象とした交流事業の開催する



- ・各地区において、地区住民が主体となりイベントを実施し、地域の魅力発信を行う。
- ・天草地域住民を対象とした、地域住民が魅力的に感じる交流イベントを企画、実施する。

### 【教育部門】

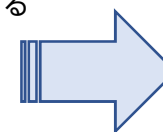
- ④ 郷土愛を育むまちづくり
- 子守唄を通じた五木村との交流等で、郷土愛を育む取り組みを行う
  - 伝統芸能文化・技術の記録映像を活用した学習を行う
  - 公民館活動による生涯学習の充実のため、全体講座を開催する



- ・交流連携協定を締結している五木村と、お互いの小学校児童と一緒に体験活動等を行い交流しながら、共通の文化「子守唄」を通じて、郷土愛の醸成を図る。
- ・地域伝統芸能・文化・技術を保存継承のために記録した映像等を学校学習において活用し、郷土愛の醸成を図る。
- ・地区住民の自己充実、生活向上のために、参加者が魅力的に感じる講座の企画、実施する。

### 【保健・医療・福祉部門】

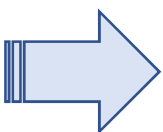
- ⑤ 生きがいを持ち心豊かな暮らしができるまちづくり
- eスポーツを活用した交流機会の創出（同世代、世代間の交流）
  - 高齢者を対象とした取り組みを行う



- ・eスポーツを通じ、定期的な体験会、年1回のeスポーツ大会を開催し、高齢者の交流機会の創出を図る。
- ・各地区もしくは天草町全体で、高齢者が魅力的に感じるイベントを企画、実施する。

### 【生活環境・防犯防災部門】

- ⑥ 地域で支えあう安全安心なまちづくり
- 自主防災組織の機能強化
  - 環境美化活動の推進



- ・各地区において、年1回以上の避難訓練もしくは防災学習を行う。
- ・各地区において、年1回以上の一斉清掃や花等の植栽を実施する。

### 3.2 (3.1) の取り組みによって解決が期待される課題

#### 【産業経済部門】

- ①の特産品事業の推進や各種イベント等での特産品のPRを行うことによって、雇用の場が少ない、産業の後継者不足といった課題の解決に繋がる。

理由：天草地域の特産品が広くPRされ、その良さが広まれば、売り上げ増に繋がり、収入の増加も見込める。そうなれば、その産業を仕事とすることで、十分生活が成り立ち、雇用の場及び後継者の増加が期待される。

#### 【観光・文化部門】

- ②の地域伝統芸能や伝統文化、技術の保存継承のための記録映像の活用、体験講座等を行うことによって、伝統芸能、伝統文化・技術の後継者不足といった課題の解決に繋がる。

理由：伝統芸能や伝統文化・技術の存在をPRし、興味を持つ人を発掘することで、後継者の増加が期待される。

- ②のSNS等を利用した地域の観光資源のPR活動を行うことによって、観光資源のPR不足といった課題の解決が期待される。

理由：地域の観光資源等をSNSでPRすることで、全世界に発信することができ、天草地域のファン増加に繋がることが期待される。

- ②の五木村との交流（相互イベントへの参加）を行うことによって、後継者不足、観光資源のPR不足といった課題の解決が期待される。

理由：相互イベントへ参加という形で交流することで、「福連木の子守唄」を更に多くの人に、その存在を知ってもらえる機会が増えることが期待される。

- ②のインタープリテーションガイドブックを活用した体験コンテンツが造成されることで、観光資源のPR不足といった課題の解決が期待される。

理由：インタープリテーションガイドブックによって可視化された観光資源を活用し、地域の事業者等によって体験コンテンツが造成されることにより、天草地域を訪れる人の増加が期待される。

### 【地域振興部門】

- ③の住民協働による地域の魅力を活用したイベント等の取り組みを行うことによって、地域役員のなり手不足といった課題の解決が期待される。

理由：地域で魅力的な行事を、地域住民が協力し合い行うことで、地域の一体感に繋がり、地域への愛着が醸成され、地域役員のなり手不足の解消が期待される。

- ③の各振興会の会員を対象とした交流会を行うことによって、地域間の交流機会が少ないといった課題の解決が期待される。

理由：地域住民が参加したくなる魅力的な行事を行うことで、地域住民が一堂に会し、地域間で交流を行う中で、情報共有やお互いの地域の実情などを把握する機会を設けることができる。

### 【教育部門】

- ④の子守唄を通じた五木村との交流等で、郷土愛を育む取り組みを行うことによって、伝統文化である「福連木の子守唄」の継承者不足といった課題の解決が期待される。

理由：子守唄を通じて五木村との交流を行うことで、子守唄という伝統文化を再認識し、後世に継承していく土台作りとなる。

- ④の伝統芸能・文化・技術の記録映像を活用した学習を行うことによって、地域に古くからの伝統芸能・文化・技術等の継承者不足といった課題の解決が期待される。

理由：学習を通じて、地域に伝わる伝統芸能・文化・技術の素晴らしさを知ること、後世に継承していく土台作りとなる。

- ④の公民館活動による生涯学習の充実のため、全体講座を行うことによって、学習機会の不足といった課題の解決が期待される。

理由：公民館全体講座を行うことで、天草地域住民に対して、学習機会の創出が図られる。

### 【保健・医療・福祉部門】

- ⑤のeスポーツを活用した交流機会の創出（同世代、世代間の交流）を行うことによって、高齢者の引きこもりといった課題の解決が期待される。

理由：高齢者でも簡単に楽しむことができるeスポーツを活用し、交流の場を設けることで、同世代はもとより世代間の交流が行われ、高齢者の引きこもり防止や外出支援の一助になることが期待される。

- ⑤の高齢者を対象とした取り組みを行うことによって、高齢者の引きこもりや、交流機会の不足といった課題の解決が期待される。

理由：各地区で敬老会、サロンなど交流の場を設けることで、同世代の交流が行われ、高齢者の引きこもり防止や外出支援の一助になることが期待される。

### 【生活環境・防犯防災部門】

- ⑥の避難訓練を実施することによって、自主防災組織の強化に繋がり、災害に対する意識づけ、防災知識の習得機会の不足といった課題の解決が期待される。

理由：各地区で避難訓練を実施することで、住民の中で災害に対する意識づけができ、防災に関する学習機会が得られることで、自主防災組織の強化に繋がることを期待される。

- ⑥の環境美化活動を行うことによって、集落の荒廃といった課題の解決が期待される。

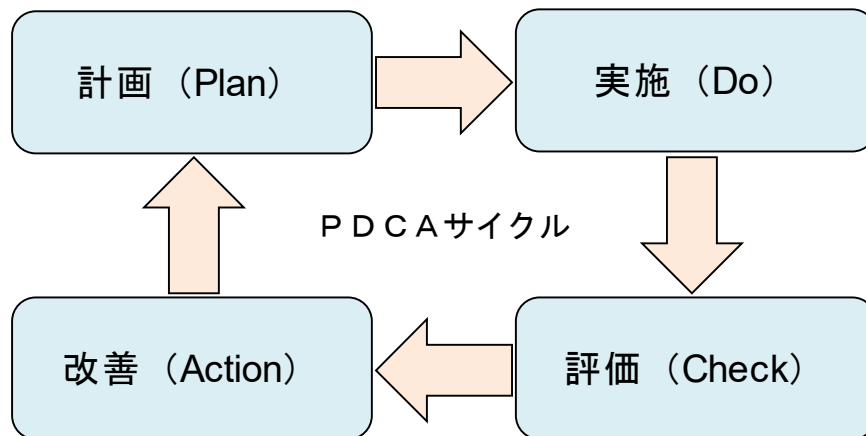
理由：各地区で一斉に、清掃や植栽などの環境美化活動に取り組むことによって、地域住民内に環境意識が根付き、集落の環境維持が期待される。

#### 4 計画の推進体制

本計画の推進体制については、天草まちづくり協議会を中心に関係団体及び行政と連携し推進するとともに、進捗状況及び目標の達成度等を年度毎に把握・評価を行い、地域情勢及び社会情勢の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容の見直しを行います。

その手法として、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルを用いて、継続的に計画を改善していきます。

図7 天草市天草地域まちづくり計画の評価・見直し(PDCAサイクル)



##### 4.1 実施

本計画に基づく施策の実施にあたっては、各実施主体を中心に天草まちづくり協議会、関係団体及び行政と連携し実施します。また、必要に応じて実行委員会を設置し施策の推進を図ります。

##### 4.2 評価・改善

本計画に基づく施策の実施状況等については、毎年度1回以上天草まちづくり協議会で評価を行うとともに、社会環境・地域環境の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容を見直します。

## 5 地域別計画

5.1 第6期 福連木地区振興計画

5.2 “ 下田北地区振興計画

5.3 “ 下田南地区振興計画

5.4 “ 高浜地区振興計画

5.5 “ 大江地区振興計画

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km <sup>2</sup> )	16.9	
人口(人)	総人口	298
	15歳未満	27
	15～64歳	132
	65歳以上	139
高齢化率(%)	46.6	
就業人口(人)	第1次産業	26
	第2次産業	39
	第3次産業	90
世帯数(世帯)	総世帯数	146
	高齢単身者	35
行政区数(区)	3	
学校		
文化財・史跡	福連木の子守唄、福連木太鼓踊り獅子舞、福連木神社、石立神社、義田の碑、説教所、山王山、龍王権現様	
その他地域資源	角山、官山の水、子守唄公園、オートキャンプ場、まごころ市場、樫木、龍王権現、猫石稻荷神社、山の神様、火の神様、志田原稻荷神社、山王山、ことの神様、福連木庄屋(尾上家)後石垣	
地域伝統芸能	福連木太鼓踊り獅子舞、福連木子守唄	
地域づくり団体	福連木子守唄&童謡まつり実行委員会	
<b>地区のいいところ・自慢できるところ</b>		
<p>福連木地区は天草市天草町の北東部に位置し、四方を山に囲まれ地域の80%を山林がしめる山村地帯である。天草下島のほぼ中央に位置し、地域の中心を流れる下津深江川に沿って県道24号線が天草下田へつながり、天草町の観光ルートの玄関口となっている。周囲を緑に囲まれた人の和を大事にする人情味あふれるのどかな農山村地域である。</p> <p>地域には、江戸時代(安政のころ)から歌い継がれる福連木の子守唄や、福連木神社の太鼓踊り獅子舞といった郷土芸能をはじめ、官山にまつわる歴史や文化、史跡やそれにまつわる物語などが数多く残っており、住民もまた、これらを大事に受け継いでいる。</p>		
<b>地区が抱える課題・困っていること</b>		
<p>地区には11の集落があり、全146戸のほとんどが山間部に点在している。高齢化が進み、1人暮らしのお年寄り世帯も増え、高齢者の多くが車輜免許を持たないため移動が不便で、公共交通機関を利用するにもバス停まで遠かったり、バスの便数が少なかったりと、容易に病院等にもかかりにくく、閉じこもりがちになりやすい、という不安がある。</p> <p>また、地域内には雇用の場が無く、若者は地域外で仕事に就いている状況であるため、地域に人が残らず、地域内での作業(市道清掃等)及び緊急時の対応などが困難になりつつあり、地域での様々な活動を維持するにも大きな負担がかかってきている。</p>		



福連木子守唄公園

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	<b>人と人とのつながりを大事にする心豊かなふるさとづくり</b>
考え方	地域住民一人ひとりが地域への愛着を持ち、みんなが住んで良かったといえるまちをつくるため、世代間交流などを行いながら生活の豊かさを実感できる、ゆとりとふれあいのまちづくりを進める。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化が加速しており、人口の減少に歯止めがかからない。耕作放棄地が多い。雇用の場が少ない。</li> <li>・地域の80%を締める山林の管理が難しくなり、竹林が広がっている中で、竹や木を再利用する取り組みを検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○限りある資源を活用したまちづくり</li> <li>・地域資源を把握し、活用する。</li> </ul>
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔から伝承されている獅子舞踊りや太鼓踊りなどの他、福連木の子守唄があるが、高齢化の加速により現状の維持が困難な状況である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域(歴史)を学び、学びを生かしたまちづくり</li> <li>・地域の史跡や名所を保全する。</li> <li>・出郷者等も含めた保存・継承するための組織を確立する。</li> </ul>
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の統合や市町合併により若い世代の流出があり若い世代の層が著しく減少している。</li> <li>・地理的に、地域住民が学校行事への参加協力が困難となり、地域ぐるみでの青少年との関わりが低下する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○みんなが参加するまちづくり</li> <li>・一人ひとりが輝き活動できる人づくりに取り組み、郷土愛を育みます。</li> <li>・体験や座談会などを織り交ぜた世代間交流。(官山散策会、サロンや各種講演会との連携)</li> </ul>
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童 生徒の減少と学校が遠距離の為、地域住民の学校への愛着が薄れている。</li> <li>・子供達と地域住民との交流の機会が失われる状況にある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子供会の充実を積極的に推進する</li> <li>・学校等と連携しながら積極的に行事等の参加を呼びかける。</li> <li>・地域ぐるみで子供を育てる体制づくり</li> </ul>
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年々人口が減り、少子高齢化に歯止めがかからない。</li> <li>・高齢者のうち、独り暮らしの方が増えており、山間部で交通手段を持たない老人が孤立してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○笑顔で元気なまちづくり</li> <li>・高齢者による福連木の歴史講座。冊子等での保存整理。(サロンとの連帯)</li> <li>・ものづくりなど体験教室の開催。(サロンや各種講演会との連携)</li> </ul>
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山間地に多くなっている耕作放棄地の再利用と、景観が素晴らしい棚田を活用した活動が必要である。</li> <li>・11集落が山間に点在するため、自主防災組織がうまく機能しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな自然と資源を活かした癒しのまちづくり</li> <li>・耕作放棄地解消を含めた魅力ある農作物等の推進</li> <li>・地域に合った自主防災組織へ再編する。</li> </ul>
【G】 都市基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>閉校後の校舎等の有効活用の推進</li> <li>・校舎等も老朽化していく中でもっと積極的に活用方法を探る。</li> <li>・福連木体育館の活用を計画的に実地して行く努力をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行政とのコミュニケーションを密にして情報を積極的に発信して情報を共有する。</li> </ul>
【H】 総務・企画	<ul style="list-style-type: none"> <li>福連木地区を担う人材の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○異世代間交流を積極的に推進</li> <li>・自治組織や振興会組織に若い世代を積極的に採用する。</li> </ul>

# 福連木地区振興計画 行動計画

## ①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
【A】 産業 経済	産業文化祭	産業文化祭を開催する。	年1回						振興会	
【A】 産業 経済	特産品づくり講演会	地域に見合う特産品づくりについて講演会を行う。	年1回						振興会	
【B】 観光 文化	炭焼き事業	地区外への参加者を募り体験型の炭焼きを行う。	年2回						振興会	
【B】 観光 文化	子守唄継承事業	五木村と特産品の販売等を通じて経済交流を行うとともに子守唄まつりを通じて子守唄の交流も行っていく。	年1回						振興会	
【B】 観光 文化	鬼火焼き	地域の伝統行事「鬼火焼き」を開催する。	年1回						振興会	
【B】 観光 文化	角山官山トレッキング	子守唄公園から角山山頂をコースとしたトレッキングを行う。	年1回						振興会	
【C】 地域 振興	地区運動会	3区対抗の運動会を開催する。	年1回						振興会	
【C】 地域 振興	地域のごちそう発見事業	郷土料理のレシピ掲載分の講習会を行う。	年1回						振興会	
【C】 地域 振興	先進地視察研修	役員を中心に視察研修を行う。	隔年1回						振興会	
【C】 地域 振興	地域の情報発信	広報紙の発行、ホームページの更新、フェイスブックを活用した情報発信を行う。	広報紙年3回、HP,FBは行事終了後等随時						振興会	
【C】 地域 振興	グラウンドゴルフ大会	グラウンドゴルフ大会を開催する。	年1回						振興会	
【C】 地域 振興	敬老会	敬老会を開催する。	年1回						振興会	

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
【C】 地域振興	交通安全キャンペーン	子ども会と共同で交通安全キャンペーンを実施する。	年1回						振興会	
【C】 地域振興	花いっぱい運動	里づくり部会で地域の景観形成を推進する。	年2回						振興会	
【C】 地域振興	資源ごみ(空瓶空き缶)の回収活動	地域の児童たちと振興会とで地域全体を廻り資源ごみを回収して振興会の活動費とする。	年2回						振興会	
【E】 保健医療福祉	ふくれぎ官山サロンの支援	ふくれぎ官山サロン実施に対する事務分野の支援	月1回						振興会	
【E】 保健医療福祉	地域福祉見守りネットワーク活動	ネットワーク団体を組織し、定期的な安否確認を行う。	週1回						振興会	
【F】 生活環境・防犯防災	クリーン作戦	地区内の市道等の除草やゴミ拾いなどの清掃活動を実施する。 ・角山官山の遊歩道の管理を行う。	年2回						振興会	
【F】 生活環境・防犯防災	自主防災訓練	自主防災組織による訓練を行う。	年1回						振興会	
【F】 生活環境・防犯防災	耕作放棄地や竹林の環境整備	竹肥の実証試験等を通じて遊休農地の耕作を推進する。	50a						振興会	

福連木地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
【A】 産業経済	特産品づくり竹紛検討会	研修で得た情報をもとに竹害で困っている地域の竹山を有効活用し竹紛を特産品にすべく検討研究しその成果で製造活用を継続的に検討実地して行く。	通年						振興会	
【B】 観光文化	阿部式窯による炭焼き事業	参加者を募り体験型炭焼きとして阿部式炭窯(短時間で炭が出来る窯)による炭焼きを実施する。	通年						振興会	
【C】 地域振興	eスポーツによる異世代間交流	eスポーツを利用しゲーム形式の交流会を実施する。特に児童生徒を巻き込んだ交流会を実施する。	通年						振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km <sup>2</sup> )	14.0	
人口(人)	総人口	444
	15歳未満	28
	15~64歳	179
	65歳以上	237
高齢化率(%)	53.4	
就業人口(人)	第1次産業	24
	第2次産業	22
	第3次産業	167
世帯数(世帯)	総世帯数	235
	高齢単身者	68
行政区数(区)	4	
学校		
文化財・史跡	下田温泉、五足の靴文学遊歩道、温泉改築記念碑、力士頭取隼元治の碑	
その他地域資源	下田温泉ふれあい館ぷらっと、下田温泉広場、下田温泉五足の湯、昭和天皇宿泊記念碑、五足の靴碑文、下津深江神社、恵比寿神社、下田温泉神社、下田金刀比羅宮(下津深江神社に合祀)、正一位生田稻荷大明神、さくら公園、夕陽スポット	
地域伝統芸能	下津深江神社太鼓踊り・獅子舞、下田温泉小唄	
地域づくり団体	下田温泉夏まつり実行委員会、下田温泉祭実行委員会	
<b>地区のいいところ・自慢できるところ</b>		
<p>天草下島の西端に位置し、西は夕陽を眺めながら東シナ海をパノラマで望むことができ、東は壮大な山々を望むことができる自然に囲まれた地域である。</p> <p>地域の特徴として、700有余年の歴史がある「下田温泉」は国民保養温泉地に指定され、市外からの観光客が多く訪れており、天草市の観光のスポットとなっている。</p> <p>この歴史ある温泉に感謝をする「下田温泉祭」が開催され、盛大に賑わう一大イベントとなっている。</p> <p>地場産業としては漁業が盛んに行われており、新鮮な魚介類が旅館での料理に並び、観光客からとても喜ばれている。</p> <p>足湯公園には足湯が整備され、毎日多くの方が訪れて地域交流の場となっている。</p>		
<b>地区が抱える課題・困っていること</b>		
<p>地区内では様々な活動を行っているが、少子高齢化と若者の職場が少ないことから、若年層の活動への協力者が不足している状況である。</p> <p>その結果、地域活動へ参加される方も高齢者が中心となり、活動が衰退していく不安がある。</p> <p>下田温泉を活用した旅館等の観光産業も、ここ数年来客数が伸び悩んでおり、厳しい状況が続いている。</p> <p>下田温泉への集客アイデアを観光関係者だけではなく、地域住民も一体となって検討していくことが課題となっている。</p>		



下田温泉街内「下田温泉五足の湯」

◆◆◆ まちづくりの目標 ◆◆◆

テーマ	<b>自然の恵みと住民の温もりで育むまちづくり</b>
考え方	天草最古の温泉「下田温泉」の良さや、天草西海岸の大海原、夕陽の魅力を多くの方に実感してもらうため、地区住民、各種団体一丸となって交流人口の増加を目指す。 また、誰もが安心して住みやすい地域を目指すため、情報の共有を図るとともに住民が楽しめる行事を開催するなど住民相互の交流を図る。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	地域の景観を守りながら、魅力ある資源を活用し、集いの場、学びの場としての保養地、文化遺産としての魅力をさらに向上させる。 また、農林水産業や観光・文化施設などが連携して、「ローカル情報」や「花いっぱい」など「おもてなし」により地域全体への回遊性を高めるとともに、ボランティアなどの人材を育成し、まちに集う様々な人々が交流し、それぞれの能力を活かすことで、新しい魅力と活力を生み出すまちをつくる。	○訪れたい温泉保養地及び景勝地、文化遺産の魅力の向上と発信 ○身近な商店街や集客施設の利用増加を図るための空間や特産品・商品の魅力向上 ○地産地消を基本とし、6次産業化に向けた地区間及び異次産業間の連携の体制づくり ○おもてなしの心、笑顔にあふれたまちづくり ○振興会活動などきっかけに気軽に参加できる「まちづくり体験」による人材育成と多産業のアイデアの集積による地域づくり
【B】 観光 ・ 文化	今につながる伝統ある歴史や文化を大切に育て、歴史、文化、自然が共存しているこの地域に暮らすことに誇りを持つ。 「下田温泉」が、下田地区の文化、人間性、住民同士のつながりを形成していると思われる。 来訪者を温かく迎え入れ、もう一度訪れたいくなるような誰にとっても心地よい心豊かな地域をつくる。	○温泉地としての活力を出すため、住民、関係団体が協力し地域づくり ○若者や女性など多様な人材が活躍できる環境づくり ○文化・芸術あふれるまちの魅力向上 ○身近なまちの歴史を知ることや趣味の講座など生涯学習の充実 ○「花いっぱい」などで清潔で美しい生活環境づくり ○誰もが市民活動へ参加し、自らの手による生きがいのあるまちづくり
【C】 地域 振興	年々人口が減り、少子高齢化に歯止めがかからない。 高齢化が進み、イベントなど各種事業への参加が年々減少傾向にある。 今ある資源と人材を活用してまちづくりに努める。	○イベントへの参加者が固定化されつつあるため、地区全体が一体となり参加できるよう内容を工夫する ○地区内各団体との協働 ○地区の活性化を図れるような新規事業への取り組み
【D】 教育	小学校の統合が行われ、地区に学校がなくなり児童数も少なく、地域住民と子どもたちの関りが希薄になってきている。 居住する子どもたちを育み見守る。	○子どもたちや家族で参加しやすい行事や世代間が交流できるイベントの開催
【E】 保健・医療 ・福祉	住民一人ひとりが自ら健康づくりに努めるとともに、高齢者や子育て中の人などが周囲から孤立せずに、みんな仲良くいきいきと暮らせるための環境づくりに取り組む。 また、障がいのある人が地域の中で暮らしやすいよう支援し、誰もが生きがいを持ち、心豊かな暮らしができるまちをつくる。	○高齢者を孤立させない仕組みづくり ○障がいのある人が自らの能力を発揮できる場づくり ○子育て支援や悩みを相談できる交流の場づくり ○生活習慣病予防など地域で取り組む健康づくり ○誰もがいつでも気軽に取り組める運動の場づくり ○健康や福祉に関する相談が気軽にできるように、関係機関との連携を図る。

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
<p>【F】 生活環境 ・ 防犯防災</p>	<p>日頃からそれぞれの住民相互の交流をはじめ、地区を越えた住民の交流を通して地域のつながりを深めまる。  その中で、地域全体で防災への関心を高め、災害時の協力体制をつくとともに、住民が協力して子どもや高齢者の安全を見守り、犯罪や事故を防止するなど、地域で互いに支えあい安心で安全なまちをつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶や行事参加を通じた住民のつながりづくり</li> <li>○自主防災会における防災訓練の実施やハザードマップの活用などの推進</li> <li>○地域と消防、警察など関係機関との連携強化</li> <li>○児童生徒の見守りや通学路の安全確保</li> <li>○住民の共助などによる高齢者の見守り</li> <li>○病院や施設との連携による医療・介護の相談への支援</li> </ul>
<p>【G】 都市基盤整備</p>	<p>廃校舎がそのままの状態であり、老朽化により周辺に及ぼす被害が心配される。  下田温泉センターも建築から36年を経過しており、下田温泉の核となる施設でもあることから改築も含め、今後の運営についても課題である。  温泉街の市道についても街並み整備完了から約20年を経過し路面が痛み通行に支障をきたしており整備が必要となってきた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○廃校舎を早期に解体することで、空き地の有効活用が見込まれるため市へ要望を行う</li> <li>○下田温泉センターについては、現在市でも縮小して建設を検討中であるが、公衆浴場を併設していることから地域住民を巻き込んだ協議が必要</li> <li>○街中の案内看板も読み取れない看板も多く存在している。新しい案内板を設置しなければならない</li> </ul>
<p>【H】 総務・企画</p>	<p>現段階ではまだ住民の楽しみに主眼を置いた事業を実施しているところである。  住民が、振興会へ何を期待し何を求めておられるか、地区の課題を認識して課題解決に向けての事業を展開する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住民に必要な様々な情報を提供することで、地区振興会の活動を知ってもらい、事業への参加協力を図る。</li> <li>○住民の意識や地区が抱える課題を把握し、解決に向けて少しずつ取り組む</li> </ul>

# 下田北地区振興計画 行動計画

## ①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
【B】 観光・文化	下田温泉夏まつり	夜市については、地元商店の出店呼びかけに力を入れ、参加しやすいゲームを取り入れ、地域のイベントとして確立していく。 灯ろう流しについては、これまで250個程度を下津深江川に流し、先祖への思いを重ねるとともに幻想的な雰囲気を出しており、今後も継続していく。	参加者 300人						産業観光部会	
【B】 観光・文化	イルミネーション装飾	振興会が中心になり装飾する温泉広場については、ロマンティックファンタジーの会場でもあり好評を得ている。予算の範囲内で継続する。 イルミネーション装飾のアイデアを募り、下田温泉の特色を活かした飾り付けを行うよう協力体制を図っていく。	来場者						産業観光部会	
【B】 観光・文化	鬼火焼	1月に伝統文化の継承事業として開催する。ぜんざい会も実施し、参加者の交流を図るため住民が参加しやすい内容とする。	参加者 200人						文化教育部会	
【B】 観光・文化	十五夜綱引き大会	中秋の名月に下田温泉広場で開催し、観光客の参加も歓迎する。 子ども・女性・男性の部に分かれ綱を引き、綱引きの後は、お楽しみ抽選会を開催する。	参加者 120人						文化教育部会	
【D】 教育	レクリエーション大会	地域住民の交流に重点をおき、子供から高齢者まで参加できるグラウンドゴルフ大会を年1回開催する。 気軽に楽しめる軽スポーツを検討する。	参加者 150人						文化教育部会	
【E】 保健・医療・福祉	敬老会	地区内の75歳以上を対象に高齢者の交流事業として9月下旬に実施する。 式典と演芸等の披露や住民の作品等展示する。 併せて、金婚夫婦の表彰伝達も行う。	参加者 100人						環境福祉部会	
【F】 生活環境・防犯防災	防犯活動・交通安全	地区内を防犯パトロールし、自動車等の施錠確認など、犯罪の防止と街灯の玉切れ等の状況確認を実施する。 自転車の運転や市街地での運転など交通安全に取り組む。	夏季期間や交通安全週間等に2回程度開催						総務自治部会	
【F】 生活環境・防犯防災	クリーン作戦・ウォーキングde街がきれい	ゴミのない、きれいなまちづくりを目指し、地区内の清掃活動を実施する。 今後も住民総参加で実施していく。 また、ウォーキングしながらゴミ拾いをする。	年4回						環境福祉部会	
【F】 生活環境・防犯防災	花ば植ゆ〜かい	下田温泉入口の花壇を中心に街中の花壇へ年2回の花植えと年間を通しての花壇管理を行う。	年2回の花植え 継続的な花壇の管理						環境福祉部会・花咲会	
【F】 生活環境・防犯防災	防災訓練	自主防災会と共同で、防災訓練・避難訓練を実施する。 併せて、下田北地区防災計画の周知を図る。	防災訓練・避難訓練を開催						自主防災会・振興会	
【H】 総務・企画	先進地視察研修	地域の課題や振興計画を基に、メインとなる事業を決定し、その事業についての研修を行う。	年1回						総務自治部会	
【H】 総務・企画	Instagram・facebookによる情報発信	振興会活動の事前お知らせ及び実施内容等掲載し、地区内外へ下田北地区振興会の情報を発信する。 フォロワーを増やす取り組みが必要である。	随時発信						総務自治部会	
【H】 総務・企画	しもだん新聞発行	振興会活動の事前お知らせ及び活動報告を地区内へ各戸配布し、振興会活動の周知を図る。	毎月発行						総務自治部会	

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期				長期 5年以上			
				R8	R9	R10	R11				
【H】 総務・企画	指定緊急避難場所運営委託事業	避難所開設の連絡を受けた場合は、北地区コミュニティセンターを開錠し、受け入れ準備をし開設・待機する。 避難者の受け入れ、市への報告業務にあたる。 従事者の確保を図る。	市の避難所開設に併せて、避難所の運営を行う。							振興会	
【H】 総務・企画	下田温泉広場・足湯清掃業務	下田温泉広場及び足湯公園の清掃業務を天草市より受託し、従事者の募集、賃金の支払い業務を行う。	定期的実施							振興会	
【H】 総務・企画	さくら公園管理業務	さくら公園の管理業務を天草市より受託し、清掃業務・除草・剪定作業を行う。 従事者の募集、賃金の支払い業務を行う。	定期的実施							振興会	
【H】 総務・企画	下田北地区振興会LINE公式アカウント	地区振興会からのお知らせ、お悔やみ情報、防災情報、市役所からのお知らせ、地区内事業者からのお知らせなど、より早く情報共有できるように運営する。	随時発信							総務自治部会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

下田北地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期				長期 5年以上			
				R8	R9	R10	R11				
【D】	eスポーツ大会	令和7年度までeスポーツ体験会を開催してきたが、さらに普及させるために体験会やゲーム方式の大会を開催する。	体験会及びゲーム大会を年2回開催							文化教育部会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km <sup>2</sup> )	8.8	
人口(人)	総人口	171
	15歳未満	6
	15～64歳	67
	65歳以上	89
高齢化率(%)	52.04	
就業人口(人)	第1次産業	8
	第2次産業	10
	第3次産業	51
世帯数(世帯)	総世帯数	82
	高齢単身者	19
行政区数(区)	3	
学校		
文化財・史跡	五足の靴文学遊歩道、猪わな、唐臼小屋跡、諸石垣	
その他地域資源	鬼海浦海岸、宝来島(笠松瀬)、笠松公園、下田南海浜公園、妙見浦、小田床川のホタル、慈泉庵(寺子屋跡)	
地域伝統芸能	小田床獅子舞、小田床太鼓踊り、小田床音頭	
地域づくり団体	天草こごとこ農事組合法人	
<b>地区のいいところ・自慢できるところ</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等の参加者が多い</li> <li>・自然に恵まれている(特に海)</li> <li>・子どもが大切にされている</li> <li>・田、畑がたくさんある</li> <li>・他所から入ってくる人にあたたかい(支援がある。移住者が多い)</li> </ul>		
<b>地区が抱える課題・困っていること</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通が不便である。熊本市から3時間かかり、道路が狭くカーブが多い(国道389号改良中)</li> <li>・現段階で若い人が少なく、将来的にも激減する可能性が高い</li> <li>・職場がない ・空き家が多い ・農地、山林の荒廃</li> <li>・草刈りするところが多すぎる ・壊れかけた家屋がある(景観が悪い)</li> <li>・憩いの場(子どもから高齢者まで)をとおして、お茶を飲む場などの交流の場が少ない</li> <li>・閉校となった小学校施設の活用</li> <li>・農業の担い手がない</li> </ul>		



笠松公園から望む妙見浦

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	<h2>心ゆたかに暮らせる地域の創造 住み良いまちづくり</h2>
考え方	地域住民の生活基盤拡充を図るため、地元で頑張っている団体等を支援することで耕作放棄地が解消することにより、働く場の確保をするとともに、空き家の活用を図り、更に、子どもには地域に誇り(夢)がもてるよう、地域の行事活動の充実化を企画し、お年寄りには生きがいをもてる活動ができるような環境づくりを目指していく。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	少子高齢化が加速しており、人口の減少に歯止めがかからない。耕作放棄地が多い。雇用の場が少ない。今後、地元で頑張っている団体の補佐を行うことで将来の雇用等につなげる。	地域の主要産業である農業の活性化が不可欠であることから、地域生産物の消費拡大を目指し、(株)チーム天草と下田南地区営農改善組合、天草ごとと農事組合法人との連携を図る。 ○耕作放棄地の再利用 ○雇用の拡大
【B】 観光 ・ 文化	当地区には、昔から伝承されている獅子舞踊りや太鼓踊りなどがあるが、若者が流出している現状から衰退しつつあり、後継者問題が課題となっている。今後は老若男女問わず、生涯学習を通じて伝統文化を学び、後継者を育成する。	地域特有の文化の伝承を目的とした、地元講師の育成等を行う。また、伝統文化から地域の歴史等、幅広い分野での学習会を公民館と連携し開催することで、子どもからお年寄りまで年齢に関係なく、参加しやすい生涯学習環境づくりを実施する。
【C】 地域 振興	少子高齢化が進む中、大きな事業経営もないため、今後の事業を実施する上で、将来を見据えた事業内容を踏まえ、視察等を交え協議する必要がある。	将来を見据えたコミュニティビジネスを行っている団体等の視察を行い、参考にしながら当地域振興の方向性を確立していく。
【D】 教育	青少年が少なくなってきた。青少年育成にかかるまた、世界遺産登録を機に長崎との文化交流を深めて行く。高齢者向けのスマホ教室開催	地域の将来を担う子どもたちに、ふるさとを愛し誇り(夢)を持ってもらえるような、歴史郷土を体験するイベント等行事活動の充実を図り、地域の子供たちは地域で育てる環境づくりを目指すとともに長崎との文化交流を深める。
【E】 保健・医療 ・福祉	当地区は高齢化率が非常に高く、少子高齢化の加速は進む一方である。また、独居老人、交通弱者も増大している現状である。	健康福祉対策として、お年寄りの健康の維持を地域住民全体で考える必要がある。 ○ふれあい活動を行うサロン等の支援 ○高齢者福祉の拡充 ○児童と高齢者の交流の場を設ける ○グランドゴルフ愛好会等の支援
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	当地区は、ホテルが飛ぶ自然豊かな環境にあるが、耕作放棄地が年々多くなってきている。また、自主防災組織の連携等充実を図る。	豊かな自然環境を永続的に継承できるよう、地域循環型の環境づくりを目指すと共に、いかなる災害にも柔軟に対応できる自主防災組織を確立する。 ○堆肥施設の有効利用と清掃活動の推進 ○ゴミの分別や廃棄の方法などの啓発活動

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
<p>【G】 都市基盤整備</p>		
<p>【H】 総務・企画</p>	<p>小規模地域であるが、出郷者をはじめ市内外へSNS等情報発信を行い、地域のPRに努めて行く。</p>	<p>出郷者への「会報 小田床」の送付や、SNS等を有効活用し地域のPRに努める。                      ○「会報 小田床」年2回発行                      ○FB共有の配信                      ○天草市WEBの駅の掲載</p>

# 下田南地区振興計画 行動計画

## ①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
【A】 産業 経済	産業文化祭	農産物と一般作品の展示を行う。また、ステージでのイベントやバザーなども開設する。	出展数150点以上						振興会	
【B】 観光・ 文化	ふるさと再発見事業	下田南の「ふるさとカルタ」は昭和58年、学校とPTAで子供達に、下田南の故郷の良さに気づいてもらおうと作成された。故郷愛と創造する心を育生させる。	年1回以上						振興会	
【B】 観光・ 文化	鬼火焼き	1月に年始めイベントとして、鬼火焼を行う。ぜんざい等の無料配布は今後も行っていく。	参加者数50人						振興会	
【C】 地域 振興	イルミネーション装飾	クリスマスシーズンに、国道に面した公民館広場に設置する。	LED100%使用						振興会	
【C】 地域 振興	役員先進地研修	天草市を含め県内外のまちづくり団体で、特にコミュニティビジネス等を扱っている先進団体への研修を実施し、地域づくりの参考に努める。	年1回実施						振興会	
【D】 教育	サポート事業	・世界遺産つながりがある長崎と文化交流を深めるため、地域間交流を実施していく。 ・子供たちの不登校や登校渋り予防など、心身健全育成の環境作りに取り組む。フリースクール下田南校への支援	文化交流年1回実施 参加者5名以上						振興会	
【D】 教育	平和教育	平和教育の推進	年1回						振興会	
【E】 保健・ 医療・ 福祉	ウォーキング大会	地区民の健康増進のため、地区内を中心としてウォーキングを行う。	地区内外参加者数60人						振興会	
【E】 保健・ 医療・ 福祉	レクリエーション大会	地区内を対象としたグラウンドゴルフ・ミニバレー、モルック大会等の大会を推進する。	参加者数70人						振興会	
【E】 保健・ 医療・ 福祉	敬老会	地区内の70歳以上を対象として実施。金婚夫婦表彰伝達も行う。	9月実施						振興会	
【E】 保健・ 医療・ 福祉	健康づくり事業	健康づくりのため住民が自由に参加できるミニバレー、グラウンドゴルフ・スカットボール・ピクニックボールを実施する。	毎週木曜日実施						振興会	
【E】 保健・ 医療・ 福祉	ラジオ体操キャンペーン	ラジオ体操推進事業として、夏休み期間、児童及び高齢者を中心に朝のラジオ体操を行う。	参加者数50名						振興会	

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期			長期				
				R8	R9	R10	R11	5年以上			
【F】 生活環境・ 防犯 防災	クリーン作戦	ゴミのない、きれいな町づくりを今後も目指し、区ごとに住民総参加で実施していく。	6月10月の年2回実施							振興会	
【F】 生活環境・ 防犯 防災	花いっぱい運動	公民館を中心として、年2回花植え活動を行う。今後は特にプランターの雑草取り作業など、維持管理にも努めていく。	春秋年2回実施							振興会	
【F】 生活環境・ 防犯 防災	防犯パトロール	駐在所と連携し、小田床港や夏休み期間、夜間など防犯パトロールを行う	2回実施							振興会	
【F】 生活環境・ 防犯 防災	自主防災事業	危険個所の把握、並びに、地域住民すべてが自然災害等の緊急時に対応できるよう避難訓練を実施する。	年1回実施							振興会	
【H】 総務・ 企画	年度行事カレンダー事業	振興会、学校、敬老会、区行事など地域行事を明記したカレンダーをつくり住民に配布する。	5月中旬までに120部発行							振興会	
【H】 総務・ 企画	広報誌発行	振興会の活動報告やお知らせなどの外、フリースクール下田南校の活動などもまとめて紙面化し、地区世帯及び出郷者へ配布を行う。	年2回発行							振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km <sup>2</sup> )	31.1	
人口(人)	総人口	973
	15歳未満	41
	15～64歳	393
	65歳以上	539
高齢化率(%)	55.4	
就業人口(人)	第1次産業	38
	第2次産業	88
	第3次産業	269
世帯数(世帯)	総世帯数	490
	高齢単身者	129
行政区数(区)	8	
学校	天草小学校、天草中学校	
文化財・史跡	高浜焼窯跡および灰原、高浜焼色絵三ツ割草花唐草文六稜大皿、上田家住宅など	
その他地域資源	十三仏公園、白鶴浜海水浴場、国登録有形文化財上田家・旅館白磯	
地域伝統芸能	高浜八幡宮太鼓踊り・獅子舞	
<b>地区のいいところ・自慢できるところ</b>		
<p>高浜地区は、雲仙天草国立公園内の自然環境が豊かな景勝地にあり、日本の快水浴場88選に選ばれた白鶴浜や天草西海岸の海岸美を有する地域である。また、江戸時代から天草陶石や高浜焼といった陶磁器で栄えてきた地区である。</p> <p>陶磁器産業を根付かせ、高浜の人々の暮らしを支え、その歴史を形成してきた「旧庄屋上田家(国の登録有形文化財)」の歴史的建造物があり、日本人ではじめてバルチック艦隊に遭遇し通報した赤崎伝三郎が建てた和洋折衷の昭和初期時代の館がある。独自の歴史や文化が、今も色濃く残っている地域であり、海産物などの食材も豊富な地域である。</p>		
<b>地区が抱える課題・困っていること</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和31年、天草町(福連木村、下田村、高浜村、大江村が合併)が誕生した当時、4,852人いた高浜地区の人口は、令和7年には805人まで減少しており、急速な少子高齢化の進行と過疎化の進展により、65歳以上が61.1%を占めるなど、準限界集落となっている。</li> <li>・住民同士の交流やふれあいも減り、地区で行われる行事への参加者数の減少から、行事自体の存続が危ぶまれている状況である。</li> </ul>		



白鶴浜海岸

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	<b>自然、文化、産業がハーモニーを奏でるまちづくり</b>
考え方	文化財や地域資源を守りながら後世に引き継ぐとともに、地域の相互扶助意識を高め、住民が自信と誇りの持てる積極的な地域づくりに取り組む。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	・高齢化と労働力不足により、耕作放棄地が増加している。	・地域資源を把握し、活用につなげる。
【B】 観光 ・ 文化	・地区の歴史を学び、後継者を育成する。 ・高浜八幡宮神幸行列の担い手不足 ・	・地域の伝統文化を次世代を担う子ども達へと継承する活動を進める。 ・後継者育成
【C】 地域 振興	・少子高齢化により、手軽に楽しめるグラウンドゴルフ以外の事業への参加者数が減少傾向にある。 ・住民の集まる場が少なくなっている。	・各種事業は継続しつつ、誰でも参加できるような内容を検討し地域振興につなげる。
【D】 教育		
【E】 保健・医療 ・福祉	・住民一人ひとりが健康づくりに努め、高齢者や子育て中の人々が周囲と孤立せず仲良くいきいきと暮らせる環境づくりへの取り組みや障がいのある人が地域の中で暮らしやすいように支援していくことが課題。	誰もが生きがいをもって、心豊かな暮らしができるまちづくりを進める。 ・高齢者を孤立させない仕組みづくり ・障害のある人の自立と社会参加への支援 ・地域全体で健康づくり
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	・災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う自主防災組織が各区で結成され、防災活動に取り組んでいる。引き続き、支援を行いながら安心安全な地域づくりを進める。	これまで守り継がれてきた地域の自然豊かな環境を、次世代を担う子ども達へと残していくための取り組みを行う。また、一人ひとりが自分らしく安心して暮らせる地域づくりを進める。 ・環境美化活動 ・自主防災組織の研修会等
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画		

# 高浜地区地区振興計画 行動計画

## ①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
【A】 産業 経済	耕作放棄地活用	耕作放棄地を活用し、高浜ぶどうの植栽を行う。	通年						ブドウ会 + 振興会	協力事業
【A】 産業 経済	無人販売	無人販売、青空市を実施する。	通年						青空市 + 振興会	協力事業
【B】 観光 文化	歴史講話	地域の歴史について研修会を開催する。	研修会年1回						振興会	
【B】 観光 文化	おね火	正月の伝統行事「おね火」を継承する。	年1回						振興会	
【B】 観光 文化	奉仕作業	白鶴浜清掃を行う	年1回						振興会	
【C】 地域 振興	グラウンドゴルフ大会	春・秋グラウンドゴルフ大会を開催する。	年2回						振興会	
【C】 地域 振興	eスポーツ交流事業	eスポーツ交流会を開催し、住民が気軽に楽しめる脳トレ習慣の定着による健康保持と増進、そして世代間交流を行う。	参加者50人						振興会	
【C】 地域 振興	情報発信	広報誌の発行、ホームページの更新、フェイスブックを活用した情報発信を行う。	広報誌 年3回 HP、FBを使った情報発信 週1回						振興会	
【C】 地域 振興	視察研修	地域課題解決のため、視察研修を行う。	年1回						振興会	
【E】 保健 医療 福祉	敬老会	敬老会を開催する。	年1回						振興会	
【F】 生活 環境・ 防犯 防災	自主防災訓練事業	自主防災会等による訓練を行う。	訓練年1回						振興会 + 自主防 災組織	
【F】 生活 環境・ 防犯 防災	美化活動	地域内の清掃を行うとともに、花、野菜づくりによる美化活動を行う。	清掃 年2回 花苗植え(春、秋各1回)						振興会 + 区	

## 高浜地区振興計画 行動計画

### ②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期		
				R8	R9	R10	R11	5年以上		
【C】 地域振興	高浜協力隊事業	イベントや伝統行事、地域とつながる活動への協力	年1回						振興会 + 区	
【C】 地域振興	浜っ子ふれあい事業	子ども民生委員を中心に子ども達と多世代交流を行う	通年						振興会	
【F】 生活環境・ 防犯 防災	みんなで防災事業	子どもから大人まで、参加型の防災体験等を行う	年1回						振興会 + 自主防災組織	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km <sup>2</sup> )	14.3	
人口(人)	総人口	729
	15歳未満	53
	15～64歳	325
	65歳以上	351
高齢化率(%)	48.1	
就業人口(人)	第1次産業	123
	第2次産業	60
	第3次産業	178
世帯数(世帯)	総世帯数	365
	高齢単身者	97
行政区数(区)	7	
学校		
文化財・史跡	キリシタン関連遺産、松浦家古文書、隠し御堂、根引きの子部屋、経塚の塔、穴観音、千の通塚、遠見番所跡、唐人墓、古寺さま、妖蛇畑の聖水、上木原遺跡、兵越の地蔵	
その他地域資源	大江教会、天草ロザリオ館、西平椿公園、やぶ椿、大ヶ瀬、小ヶ瀬、お万ヶ池公園、須賀無田海岸、徳照山江月院、大江八幡宮、北請稻荷神社	
地域伝統芸能	軍ヶ浦十五柱神社太鼓踊り、新地節と綾竹踊り、大江八幡宮の太鼓踊り・獅子舞	
地域づくり団体	西平カメラクラブ、大江おこそう会	
<b>地区のいいところ・自慢できるところ</b>		
人柄がよく人情がある／地域のまとまりがある／自然豊かで景観が良い(日本の夕陽百選・天草夕陽八景)／キリシタン文化の象徴である大江教会があり、崎津集落の世界遺産と共に天草の観光を担っている		
<b>地区が抱える課題・困っていること</b>		
人口の減少／漁業・農業の後継者不足／若者の働く場所がない／交通の便利が悪い(病院・買い物等)／耕作放棄地が増えている／鳥獣被害が増えている		



西平椿公園内の「アコウの木」

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	<b>歴史遺産と自然景観を活かしたまちづくり</b>
考え方	豊かな自然と数多くの歴史を学び、地域資源の保全と利活用を行い、多くの来訪者で溢れるまちづくりに取り組みます。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	・基幹産業である農業は、後継者不足と高齢化による耕作放棄地が増えている。	○限りある資源を活用したまちづくり ・資源や特産品を活用したイベントを開催する。
【B】 観光 ・ 文化	・キリシタン関連による観光客が多い。 ・西海岸椿公園への来場者が増えている。 ・滞在型観光客が少ない。 ・地区には、歴史に由来する史跡や伝統文化が多い。	○滞在型観光客を増やすための取組を行う ・イベント等の実施 ・PR(ホームページ等)活動を行う。 ・伝統文化の継承事業を実施する。
【C】 地域 振興	子どもから高齢者まで地域みんなが楽しめる、参加できる事業を開催(ジャガジャガ祭、イルミネーション、各種スポーツ大会など)している。	○地元みんなで作る地域づくり ・住民や各種団体と協力しながら実施する。 ・町内の子供たち(小・中・高生)の協力を受けながら実施する。
【D】 教育	・地区内の子供の減少と小・中学校がなく、子供達と触れ合う機会が少ない。	○地域と学校で子供を育む。 ・地域・保護者・学校で協力しながら、将来の日本を背負う子供を育てる事業を実施する。
【E】 保健・医療 ・福祉	・人口減少と高齢化が進んでいるため、自治部会等で見守りや声掛けを行っている。 ・交通の便が悪く病院も町内になく、通院も一日がかりである。	○笑顔あふれるまちづくり。 ・高齢者への積極的な声掛け見守りを行う。 ・健康づくりに寄与できるように、みんなが参加できるスポーツ行事に取り組む。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	・きれいな町を目指しクリーン作戦を年2回実施し、環境美化で花いっぱい運動も行っている。 ・防災では、高齢者が多いため自主防災組織による避難訓練を実施している。	○観光客を温かく迎えるまちづくり。 ・観光施設や道路沿いに歓迎の花植えを行う。 ○安心安全なまちづくり。 ・災害発生後の避難所生活の訓練等も実施する。
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	・振興会活動への関心が薄れてきている。	・振興会活動の必要性を関係者と共有する。 ・振興会活動の取組を具体的にPRする。

# 大江地区振興計画 行動計画

## ①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期		
				R8	R9	R10	R11			
【A】 産業 経済	ジャガジャガ祭	特産品のじゃが芋を、農家に耕作依頼し、子供から大人まで楽しめる掘り取り体験を行い、じゃが芋や他の農産物の販売・PRを行う。	来場者数 3,000人						振興会 + 農家	
【B】 観光 文化	大江クリスマス イルミネーション	大江教会や天草町ロザリオ館周辺に、約1ヶ月間イルミネーション点灯を行い、来場者に楽しんでもらう。また、周辺旅館等の宿泊客にも楽しんでもらえるように、旅館等のホームページでPRに活用してもらい、観光客の増加に繋げる。	期間来場者数 6,000人						振興会 + 実行委員会	
【B】 観光 文化	あったか天草椿 まつり	東シナ海を眺望しながら、2万本の椿の花や、「天草のラピュタ」とSNSなどで有名になったアコウの木を見てもらう。併せて、地域の特産品の販売を行う。	来場者数 1,000人						振興会 + 実行委員会	
【B】 観光 文化	大江精霊流し	お盆の帰省客と地域の交流、伝統文化の継承を目的に初盆家の精霊流しを行う。	来場者数 300人						振興会	
【D】 教育	子供との交流会	小学生のふるさとの思い出作りに、海・山・ふるさとの遊びなどを体験できる事業を行う。	年1回～2回						振興会	
【E】 保健 医療 福祉	敬老会	70歳以上を対象に、長寿や金婚式表彰を演劇や踊り、カラオケや記念品などでお祝いする。	9月に実施						振興会	
【E】 保健 医療 福祉	大江地区体育祭	子供からお年寄りまで楽しめる、健康維持のための軽スポーツを実施する。	10月に実施						振興会	
【E】 保健 医療 福祉	グラウンドゴルフ 大会	誰もが参加できるスポーツを通じて、地域住民の親睦と融和、健康づくりにグラウンドゴルフ大会を実施する。	年1回～2回						振興会	
【F】 生活 環境 防災	クリーン作戦	国道沿いや市道、生活道路などの清掃草刈を実施する。	年2回以上						振興会	
【F】 生活 環境 防災	花いっぱい運動	地区内の道路沿いや観光施設付近に、四季折々の花を育てる。	年4回程度						振興会 + 住民	
【F】 生活 環境 防災	防災訓練	自主防災組織と共同で、防災訓練・要支援者の避難訓練や避難所体験などを実施する。	年1回						振興会 + 防災組織	

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期		
				R8	R9	R10	R11	5年以上		
【H】 総務企画	先進地研修	振興会の取組や地域産業の取組などの先進事例を研修する。	2年に1回 役員交代時期						振興会	
【H】 総務企画	出郷者との交流	大江より上京し多方面で活躍されている方々と交流を図り、故郷への思いを深めて頂く。	年1回ふるさと会の総会に合わせる						振興会	
【H】 総務企画	広報誌発行	振興会活動や地域の情報、学校・出郷者の情報を交えて発行する。併せて、出郷者の購読希望者にも送付する。	年4回発行する						振興会	
【H】 総務企画	ホームページ作成	振興会ホームページやフェイスブック・インスタグラムなどで、活動やイベント情報などを発信する。	通年						振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

## 大江地区振興計画 行動計画

### ②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期		
				R8	R9	R10	R11	5年以上		
【E】 保健医療福祉	eスポーツ事業	eスポーツを活用し、同世代、世代間の交流会を実施する。	年1回以上						振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。